



上/設立総会の様子。下/参加者が地域の課題やそれぞれの考えを述べ合ったラウンドテーブルディスカッション。



※円卓を囲みテーマについて自由に話し合う議論のスタイル。

『健やかに暮らせるいいたての会』

3月22日、いちばん館で、「健やかに暮らせるいいたての会」の設立総会が開かれました。

この会は、飯館村の現在の状況を踏まえ、健康不安や介護・医療の課題について自由に対話し、「誰一人取り残さない長期的な仕組みづくりを目指そう」と発起人らが設立準備を進めていました。関係団体や専門家とも連携し、福祉・医療・介護に関する活動を実践しながら「将来のビジョンを提言するような働きをしていこう」と考えています。

発起人がこうした趣意を説明し、会の設立を宣言。会長となった小林美恵子さん(前田・八和木)が「一緒に頑張っていきましょう」と、副会長の本田徹医師(伊丹沢)が「村の人が安心して暮らせるコミュニティにしたい」と呼びかけ、入会希望者を募りました。

また、引き続き行われた「ラウンドテーブルディスカッション」には杉岡村長、石井健康福祉課長も加わり、「健やかに暮らすために何が重要か」など3つのテーマで自由に意見を述べ合いました。

掲載行政区に冊子をお届け。左から東大むら塾の松野さん、武田知士さん、長正増夫大久保・外内行政区長。



東大むら塾「行政区ずかん」

“農業×地域おこし”をテーマに活動する東京大学の学生団体「東大むら塾」が、『いいたて行政区ずかん』を発行しました。村の行政区が持つ機能や文化に注目した“飯館部”のメンバーが、令和4年から取材を進めてまとめたもので、区長や区民のインタビューを通して地域の現状を記録することにも注力。第1弾として、全20行政区のうち10行政区の情報を1冊に収めました。「地域の一助になればうれしい」と編集長を務めた松野大河さん。冊子は村内の公共施設に置いて無料配布を行っています。直接入手をご希望の方は、松野さん(☎ 070-1408-2180 / ✉ mattiyama2000@gmail.com)まで。



子ども達へ「本」のプレゼント

2月14日、庄建技術株式会社(南相馬市/鈴木克久取締役会長)から、いいたて希望の里学園の子ども達へ、図書の寄贈をいただきました。古生代から新生代までの生物図鑑、土や海底について楽しく学べる本など、計12冊です。

読書離れが進む現代の子ども達が楽しく本に触れることができるよう、様々な企業の方から本の寄贈をいただいております。子ども達の学びへとつながっています。ご支援をありがとうございます。



までいの里のこども園へ絵本の寄贈

3月14日、戸田建設株式会社東北支店(中村隆浩所長)から、までいの里のこども園へ、絵本57冊(10万円分)を寄贈していただきました。同社は、令和4年度から村内で仮置場復旧工事等を行っており、昨年こども園に絵本を贈ってくださいました。3歳以上児が「たくさん絵本をありがとうございました」とあいさつし、感謝を込めて園歌を歌いました。クラス別に楽しめる絵本や大きい絵本など種類は様々で、子ども達はうれしそうに手に取っていました。

『いいたての草木の色展』

2月25日から29日、旧白石小学校で、「飯館までい文化事業団」が、『いいたての草木の色展』を開催。村内で採取した草木を使い、村民も参加して染色した作品の数々を展示しました。作品には、使用した植物の解説が添えられていて、訪れた人が、自然から生まれた美しい色の競演を楽しんでいました。また、同団体が運営する「いいたて手仕事の会」の作品も合わせて展示。染色したハギレで“くるみボタン”を製作するミニワークショップも開かれました。



飯館地区稲作振興大会(交流センター「ふれ愛館」)

J A 稲作振興大会・花卉セミナーを開催

J A ふくしま未来飯館営農センター主催の『飯館地区稲作振興大会』が2月22日に、同センターと村共催の『花卉セミナー』が同26日に開催されました。

『稲作振興大会』が飯館地区で開催されたのは、震災後初めてです。国の方針を踏まえ、相馬地方全体で、飼料用米から主食用米への転換が推進されている中、飯館村でのみ栽培されているもち米「あぶくもち」の生産拡大が提案され、生産者と関係者が意見を交換。「あぶくもち」の復活に取り組んだ生産組合、県、村の他、販売先やJAも「一体となって機運を高めていければ」と今後に向けた話し合いを行いました。

一方の『花卉セミナー』では、北原彰さん(宮内)を講師に、トルコギキョウ栽培の“応用編”となる講義が行われました。北原さんは栃木県那須塩原市で花卉栽培に取り組んでいて、昨年からはセミナー開催にご協力をいただいています。営農センターでは、「村の花卉の品質向上、生産拡大を共に目指していけるよう、生産者に広く参加を呼びかけセミナー等を継続的に開催したい」と話しています。



花卉セミナー(飯館営農センター会議室)